

交通マナーの悪さに悩む都道府県 & 主要都市ランキング【2019 完全版】

ブランド総合研究所 ダイヤモンド編集部

ライフ・社会 日本全国 SDGs 調査ランキング

2020.3.9 5:20



住民が「交通マナー」の悪さに悩んでいる都道府県や都市は？（写真はイメージです） Photo:PIXTA

名古屋走り、阿波の黄走り、茨城ダッシュ……いずれも各地の“危険な運転マナー”を表したものだ。

ただし、他県の人たちから見て「危険な運転だ」「交通マナーを守らない」と思っているも、実際に住んでいる住民たちがどう思っているかは別問題。

そこで、各都道府県の住民へのアンケートによって「交通マナーの悪さ」に悩んでいる度合いを明らかにしたのが、ブランド総合研究所の実施した「交通マナーの悪さに悩む都道府県 & 主要都市ランキング」だ。

このランキングは、ブランド総合研究所が2019年に初めて行った住民視点で地域の課題を明らかにする『地域版SDGs調査』によるもの。今回は、47都道府県の住民と主要都市83市の住民に聞いた「交通マナーの悪さに悩む都道府県 & 主要都市ランキング」を見ていこう。

※アンケートはインターネットにて実施。都道府県版は1万5925人から回答を得た（一部を除き各都道府県から約340人）。調査時期は2019年7月12日～19日。一方の市版は、各道府県庁所在市、政令指定都

市、中核市に該当する 83 市の住民 1 万 3270 人から回答を得た。調査時期は 2019 年 11 月 19 日～12 月 23 日。住民の悩みとして挙げた 48 項目のうち「交通安全・交通マナー」に悩んでいると答えた人の割合からランキングを作成した。

1 位はダントツで徳島県に！

交通マナーの悪さに悩む都道府県ランキング

交通安全・交通マナーに悩む住民が多い 都道府県ランキング		
順位	都道府県名	%
1	徳島県	13.5
2	香川県	9.6
2	福岡県	9.6
4	栃木県	9.3
5	茨城県	9.2
6	佐賀県	9.1
7	新潟県	8.6
8	福井県	8.3
9	秋田県	7.9
10	鳥取県	7.8
10	熊本県	7.8
10	沖縄県	7.8
13	東京都	7.4
14	和歌山県	7.3
14	宮崎県	7.3
16	京都府	7.1
17	奈良県	6.8
18	愛媛県	6.7
19	大分県	6.5
20	山梨県	6.4
21	岡山県	6.3
22	千葉県	6.2
23	宮城県	6.1
23	長野県	6.1

25	福島県	5.8
25	神奈川県	5.8
25	石川県	5.8
25	滋賀県	5.8
29	群馬県	5.6
30	埼玉県	5.5
30	広島県	6.3
32	北海道	5.4
32	三重県	5.4
34	岩手県	5.3
34	富山県	5.3
36	愛知県	5.2
37	山形県	5.0
37	兵庫県	5.0
39	静岡県	4.9
40	大阪府	4.6
41	岐阜県	4.4
41	山口県	4.4
43	高知県	4.3
44	島根県	3.9
45	長崎県	3.8
46	青森県	3.0
47	鹿児島県	2.3

交通安全・交通マナーに悩む住民が少ない 主要都市ランキング			交通安全・交通マナーに悩む住民が多い 主要都市ランキング		
順位	都道府県名	%	順位	都道府県名	%
1	久留米市	0.9	1	佐賀市	14.8
2	相模原市	2.3	2	宇都宮市	14.5
3	下関市	3.1	3	甲府市	13.5
4	西宮市	3.3	4	高松市	12.7
4	川崎市	3.3	5	豊田市	12.6
6	神戸市	3.7	6	大分市	12.2
6	札幌市	3.7	7	福岡市	11.5
8	仙台市	4.2	8	徳島市	11.4
8	横浜市	4.2	9	函館市	11.0
10	川越市	4.5	10	福井市	10.7

まず、「交通マナーの悪さに悩む都道府県ランキング」1位になったのは徳島県で、悩んでいる人の割合は13.5%となった。2位は同率（9.6%）で香川県と福岡県となり、徳島県が他県を圧倒した形だ。

一方で、下位の悩みが少ない都道府県に目を移すと、45位は長崎県（3.8%）、46位は青森県（3.0%）、47位は鹿児島県（2.3%）だった。

マナーの悪さに悩む主要都市

1位は佐賀市、2位は宇都宮市に

次に、「交通マナーの悪さに悩む主要都市ランキング」を見ていこう。1位になったのは、佐賀市（14.8%）だった。2位は宇都宮市（14.5%）、3位は甲府市（13.5%）で、都道府県版で2位香川県の県庁所在地である高松市は、4位（12.7%）にランクインした。

一方で、「悩みが少ない」のは、1位久留米市（0.9%）、2位相模原市（2.3%）、3位下関市（3.1%）となった。

地域特有の“危険な運転マナー”に

悩んでいる住民はやはり多かった！

今回のランキングの都道府県版では徳島県が1位、市版でも徳島市が8位にランクイン

した。徳島は「信号が黄色になるとスピードを上げる」ことを指す“阿波の黄走り”というルールがあることでも知られている。

また、都道府県版で5位に入った茨城県は、「信号が青になると、対向車が来る前に右折する」という“茨城ダッシュ”という事故を招く危険な運転が問題になっている。

市版で3位になった甲府市も、“山梨ルール”なる「車線変更禁止区域でも関係なく追い越し車線から割り込まれる」危険な運転があるという。

やはり地域特有の“危険な運転マナー”は、住民にとっても大きな悩みになっているようだ。

同調査を行ったブランド総合研究所の田中章雄社長は、今回の調査から全体的な傾向として、「北海道や東北では悩んでいる人が比較的少なく(5.5%)、関東(7%)や中四国(6.9%)が多い」と分析する。その理由の1つが、トラックの多さだ。

もちろんトラック運転手の運転が荒いと言いたいわけではなく、普通に運転していても、トラックは車体の大きさから威圧感があって、運転が乱暴に見えかねない。そのため「トラックが数多く走るような交通の要所が多い都道府県や市は、上位に入りやすい可能性がある」(田中社長)という。

また、高齢者が多いところもマナーが悪いと言われやすい。高齢になることで視野が狭まり、事故も起こりやすいのがその理由といえるだろう。

今回の調査は、住民に交通マナーの悪さに悩んでいるかどうかを尋ねており、住民が地元で運転していたり、車の運転を間近に見ていたりする経験から回答してもらっている。黄色信号でも交差点に進入するなどの“名古屋走り”で知られる愛知県が36位(5.2%)と意外にも下位なのは、地元住民はそれに慣れてしまっているせい、周囲が作り上げた過去の悪いイメージのせいなのかもしれない。

(ダイヤモンド編集部 林 恭子)